

湖畔の風

★ 砥森山登山道作業道整備

4月25日(金)登山道整備をおこないました。今年も松枯れなど、倒木が多く作業に時間がかかりました。例年でしたら、5月5日に山開きをし、砥森山登山会を開催しておりましたが、コロナ禍以降登山道整備だけとなっています。

5月27日(火)には、国有林作業道で金山跡地までの整備を行いました。

作業をしている間にも登山愛好家の方が頂上を目指していきまされたので、これからも登山道整備は続けていかなければならない事業です。



今年も倒木が多く作業に時間がかかりました



作業道、金山跡まで整備 5月27日に行いました
右側の写真後ろ辺りが金を掘り出した場所です



これから登山道整備に向かいます

★ 健康教室・元気でまっせ体操合同教室

令和6年度の保健福祉事業の健康教室は、講師の富手京子さんがけがで入院をされたため3回で終了となるところでしたが、後半2回を小倉地区で活動している「元気でまっせ体操の会」の協力により元気でまっせ体操を行いました。

この度、富手さんが元気になられたので、健康教室で予定されていた干支のへび人形作りを行いました。材料など、事前に準備されていたため、今年(巳年)中に作らなければならないということで、急遽開催されたものです。

参加者は「健康教室」「元気でまっせ体操の会」合わせて17名でへび人形を作りました。



簡単そうに見えますがしっかり先生の説明を聞いてください



全員干支のへび人形完成です



大きな目玉のへび
それぞれ好きな目玉にしました

○ 視察研修募集について

令和7年度産業振興事業の視察研修が下記の日程で開催されます。

ご参加を希望の方は6月6日（金）までに振興センター 電話：0198-44-5281 までお申し込みください。詳しくは別配布になっていますチラシにてご確認をお願いいたします。

1. 期日 令和7年6月11日（水）午前7時発
2. 視察場所 「ジオファーム・八幡平」（マッシュルーム）
「八幡平山頂鏡沼」（ドラゴンアイ自然観察）
3. 参加負担金 4,000 円
4. 募集人員 30 名
5. 視察行程（概要）
7:00 尤部発→中通→白土→江刺田瀬インター
→八幡平方面（マッシュルーム研修）・（ドラゴンアイ自然観察）
→道の駅「もりおか渋民たみっと」→17:30 田瀬着
※詳しくはチラシをご覧ください。
6. 交通手段 ㈱東和交通観光
7. 参加申込 直接田瀬振興センターまたは、各自治会長へ6月6日（金）までにお申し込みください。（TEL：0198-44-5281）



★「羊霊塔」案内看板修理



修理した案内看板

小倉地区築館にある羊霊塔案内看板の支柱が、腐食して倒れたので、修理をして設置しました。羊霊塔の場所は築館停留所からダム湖方面に50メートル下るとあります。

羊霊塔について、平成23年3月に発行された「田瀬の歴史」より抜粋いたします。



羊霊塔

ここで羊霊塔建設について記述する。昭和27年田瀬ダム工事により、同地の多くの緬羊飼育者が永年の住家を離散するの止む無きに至ることから、緬羊飼育の状況を後世に残し、併せて、湖底に沈む幾多の緬羊の霊を弔う意味で、当時の組合長朝倉善之助氏が組合員に計り同意を基に、同年11月29日に建立した。

羊霊塔の揮毫（きごう：毛筆文字や絵を書くこと）は、時の県知事国分健吉翁によるもので、やがて湖底に沈む猿ヶ石川の底石（天然花崗岩）に墨痕あざやかに羊霊塔の題字が印された。

羊霊塔の建立除幕式には、国分知事を招待しジンギスカン（羊肉）パーティーでもてなした。田瀬地区民はこの時初めて羊肉を食し、美味を味わったのである。

—田瀬の歴史 第二章 農林・水産・畜産等より—

平成10年(1998)5月第54回「欽ちゃんの仮装大賞」に出場
合格・演技賞入賞の快挙

第2回 バス遅刻事件と東北予選通過まで

3月上旬の日曜日、仙台市・宮城テレビで行われる東北予選には、田口教諭夫妻と8人の児童、それぞれの保護者等合わせて20名ほどの参加者が中型バスをレンタルして向かう予定が組まれていた。

当日の朝、小学校の前庭に一行は集まった。ところが出発予定の時間が過ぎても、バスは来ない。田口教諭夫妻も来ない。携帯電話もさほど普及してはいなかったから、訳も分からず一行は待った。不安にかられながらも、ただ待つしかなかった。

一時間以上も経ってからのことだった。ようやく田口教諭の車とバスと後続の乗用車の3台が連なって学校前の入口の道路を左折してきたのだった。

「バスが来たあ！」

待ちくたびれていた児童たちは大声で叫んだ。バスの運転席には、5年生多田若菜の父親・幸七氏が収まっていた。

バス遅刻事件のいきさつはこうである。田口教諭は事前に借りる手続きを済ませていたが、当日貸し出される際、レンタカー店の職員に中型バス以上の運転免許証の提示を求められた。田口教諭はてっきり自分が運転していくつもりでいたのだが、普通車の免許しかなければ運転することができない事実を告げられたのだ。このままでは、児童たちを連れて予選に参加できない。不測の事態に、田口教諭は父兄の多田幸七氏を思い浮かべた。建設業に携わっている幸七氏ならバスを運転できるかもしれない。すぐに多田宅に電話を入れ、免許の有無を確認すると、事情を話して頼み込んだ。

その電話が来た時、日曜日なこともあり、幸七氏はまだ寝ていた。前夜社用の飲み会で帰りが遅かったのだ。あわてて起こされ話を聞いたとき、まさに寝耳に水、正直「はあ？」という感じで迷惑だった。が、その予選参加のために三女・若菜を含めたクラスメイトや保護者達が首を長くしてバスを待っているのだ、自分が行くしかないことが明白だった。幸七氏は素早く身支度し、カバンの中の免許証を確かめ、新花巻駅近くのレンタカー店に向かった。

バスは順調に進み、無事に午後一の予選に間に合った。このころの演技は背景もホワイトボードを使い、小道具も細く裂いた水色のスズランテープで水しぶきを表現した程度だったが、横から橋上へ視点が切り替えられた後の児童たちの腕の動きのユニークさが審査員の興味をひき、本選出場に向けた3組の中に残れることとなった。帰りのバスの中はみな笑顔にあふれていた。

しかし、これで出場が決定したわけではない。5月4日の本選に出られるまでにはこの後のビデオ審査の合格が求められた。60秒ほどの演技、それが日テレ人気の看板番組にふさわしいのかどうか判断される。

ビデオ提出までの期日は短い。予選の審査員からのアドバイスも、横向きのポートが移動する背景を的確に躍動感のあるものにする、視点が変わる場面をわかりやすくする、後半の児童たちの腕(オール)の距離や動きをそろえる等々、まだまだ改善点が山積みだ。

翌月曜日から、体育館での練習と準備は再開された。
〈次回につづく〉

腕(オール)の距離や動きをそろえる練習



お知らせ！ ー花巻市防災訓練についてー

令和7年度花巻市防災訓練が6月29日（日）開催されます。今回は過去の災害発生や避難情報等の発令状況から、災害の発生のおそれや避難が必要になる可能性の高い地区において取り組むということで田瀬地区・小倉自治会自主防災会、中通自主防災会、白土自主防災会、消防23分団1、3部も対象となっています。田瀬振興センターにも避難所が開設されます。

訓練の内容は自主防災会と消防による「避難行動要支援者（想定）」の避難支援訓練で実際に緊急避難所（田瀬振興センター）まで避難支援を行います。

また、避難所では受付を行い、段ボールベッド、テントの組み立てなどの訓練を行いますので、一般の方も訓練にご参加ください。

9：00 エリアメール 携帯電話(スマートフォン)にアラーム音と共に「訓練:レベル3 高齢者等避難…」のメッセージ受信

※ 訓練ですので、お間違いのないようお願いいたします。

9：20 頃までには避難所開設 場所：田瀬振興センター

9：30 避難所で受付、段ボールベッド・テントの組み立て訓練等

10：30 訓練の振り返り

11：00 終了

6月の行事予定

- ・各専門部会
- ・視察研修 シオファーム・八幡平、ドラゴンアイ 6月11日(水)
- ・東和地区教育振興運動実践協議会田瀬支部総会 6月17日(火)
- ・田瀬地域生涯学習推進委員会 //
- ・花巻市防災訓練 6月29日(日)

7月の行事予定

- ・ふれあい昼食会
- ・グラウンドゴルフ大会

都合により変更になることもありま
すのでご了承ください。

編集後記

5月は農作業が本格的に始まったり、寒暖差が大きかったりして体調を崩された方も多いと思われます。早めの回復をお勧めします。これからは梅雨に向けて湿度と気温の上昇が予想されます。熱中症等にならないよう、水分の補給と十分な休養を取るようにしてください。



田瀬地区の人口

(令和7年4月末現在)

行政区	世帯数	人数			比較 (前月比)
		男	女	計	
田瀬第1	67	77	87	164	一人減
田瀬第2	28	32	30	62	一人減
田瀬第3	69	67	80	147	二人減
計	164	176	197	373	四人減

花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで